

「商用開始から5年を経た5Gの課題と今後の展開 － ベンダー編 －」

- 5Gネットワークとサービスの現状
- 商用5年の歩みと課題
- スタンドアローン、5G-Advancedへの進化
- ユースケース展開
- 6Gへ向けた展望

講 師	(座長) 上智大学 理工学部 客員教授 (ご挨拶/開催趣旨説明) マルチメディア推進フォーラムモバイル部会 部会長代理 (元・エリクソンジャパンCTO)	服 部 武 氏
	日本電気株式会社 テレコムサービスBU CTO 富士通株式会社 モバイルシステム事業本部 Head of RU Operation & Business Management エリクソン・ジャパン株式会社 チーフテクノロジーオフィサー ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社 ストラテジー&テクノロジー 技術戦略本部長	藤 岡 雅 宣 氏 大 神 正 史 氏 鬼 柳 広 幸 氏 鹿 島 毅 氏 高 岡 晴 生 氏

事務局 ハイテクノロジー推進研究所 〒150-00036 渋谷区南平台町15-12 南平台アイアイビル2F TEL 03(6416)0190代 FAX 03(6416)5351

「マルチメディア推進フォーラム」のご案内

明日の社会発展をリードする情報通信を目指して

情報通信技術が人類の新しい生き方を作り出し、新しい社会を作り出していることは、21世紀に入ってから一般の人々を含め広く認識されるようになった。歴史的にも、人間は近くにいる人々との対話によって協力関係を構築し、グループで力を発揮することによって世界を変化させてきた。通信技術は対話の範囲を広げその能力を強化している。

マルチメディア推進フォーラムは日本の情報通信の発展のために、新しい技術とサービス、その社会的対応と法制度などを多角的に議論するフォーラムである。1990年ころから準備を進め、1994年からは現在の名称となって多くの方々の支援を得て、独占から競争へ、電話からインターネットへ、固定から携帯への変化をとらえ様々に論じてきた。特に情報通信ネットワークのサービスが競争環境で行われるようになった今日、競争状況のなかでなお、ネットワーク事業者は接続されるネットワークについて相互に理解し協力しなければサービスは成立しない。そのためには多くの事業者が相互に理解するチャンネルをオープンに持つことが不可欠であり、本フォーラムでの議論はネットワークサービスの円滑な発展のためにも貢献していると考えている。

通信技術はその発生以来、人と人が交信する技術として発展してきたが、21世紀に入り世界のすべての人が端末を持つようになり、市場は飽和してきた。また通信端末は長く固定端末であったが、携帯端末が主流を占めるようになってきた。このような展開は20世紀には見られなかったことで、21世紀に入ってからの変化は急激である。コンピュータに代表される情報技術は70年前に実現したが、ムーアの法則による超小型化の進展によって社会の隅々に情報処理技術を広げてきている。コンピュータの能力は高まり、大量情報の取り扱いによって、過去においては取り扱いが困難であった巨大な情報に適用することにより、いままですら気が付かなかった現象を分析し、われわれの知識を増やしつつある。このような技術は、すべての社会活動の基礎として広く産業化され、社会化されるようになっている。

多くの情報は社会の様々な場面で発生する。それぞれの場面には多様な産業がある。家庭では家庭用の機器産業がある。鉄道では交通サービス産業がある。エネルギーを供給する電力産業、医療事業、自動車産業など多様な産業も情報処理と通信の技術を活用しながらサービスを展開しつつある。このような技術における通信はM2M通信（機械と機械の通信）と呼ばれるが、多様な背景を持つ技術のM2M通信について、その初期には産業分野ごとに通信ネットワークを構築する議論も稀ではない。しかし、各分野が独自に情報通信設備を構築することは現実的でない。M2Mネットワークの本質を理解しつつ、共通の通信インフラストラクチャを構成することは情報通信産業に課せられた課題である。同時に情報通信産業は個々のアプリケーションを形成する活用技術について、その特質を理解しなければならない。そのためには、技術を技術としてだけ論ずるのでは不十分である。技術を国際的視野から、社会的な側面を含めて分析し、関連する産業、法制度との整合性を含めて理解することが重要である。時には産業構造の変革、法制度の見直しを考えることも話題になるだろう。

マルチメディア推進フォーラムは、情報通信技術の多様な発展について論じつつ、新しい市場の特性を理解した幅広い問題を考慮しながら、情報通信事業とサービスの将来を論じたいと考えている。

ICTはますます多様化し、産業としても社会としても重要性を増している。社会のICT化はその社会が国際的に競争力を維持するための基本的要素となっている。マルチメディア推進フォーラムはそのための技術、社会、普及の条件等を幅広く討議し、競争力のある社会を形成する方策について議論を進めている。今日に至る情報通信技術の変革期の中で、その適切な発展のために当フォーラムの果たして来た役割は大きい。このような役割は今後ますます大きくなると考えている。皆様のそれぞれの活動の発展のためにもマルチメディア推進フォーラムに対する御支援をお願いする次第である。

本フォーラムに関連する部門 あるいはご関心をおもちの部門に
ご回覧下さいますようお願い申し上げます。

■ 「マルチメディア推進フォーラム — P A R T 980 — 」 開催内容
(主催)マルチメディア推進フォーラム

テーマ 「商用開始から5年を経た5Gの課題と今後の展開- 総務省・事業者編 -」

日 時 2025年 7月 10日 (木) 13時00分～17時00分

時間	講 演 内 容	講 師
(本フォーラムの趣旨・論点)		
● 5Gネットワークとサービスの現状 ● 商用5年の歩みと課題 ● スタンドアローン、5G-Advancedへの進化 ● ユースケース展開 ● 6Gへ向けた展望		
日本で5G商用サービスが始まってから5年が経過し、加入者は着実に増加しているものの未だ4Gの延長線上のサービスの提供が中心であり当初期待していた産業応用などの5Gのユースケースが十分に展開されているとは言えない状況にある。通信速度やカバレッジなどの面からも、更なるネットワークの拡充が期待される。 そこで、本フォーラムではこれまでの5G展開やネットワーク品質における課題を振り返り、それに基づき5G-Advancedを含む今後の展開の方向性について論ずる。特に、5Gの収益化という観点での新機能や新サービスへの期待、具体的には5Gスタンドアローンによるネットワークスライシングやネットワークエクスポージャー、サービス品質保証などによるユースケース拡大に向けた取組みなどについて、トライアルを含む様々な観点、様々な立場から議論して頂く。		
(座長) 上智大学 理工学部 客員教授 服 部 武		

13:00 ～ 13:10	(ご挨拶/開催趣旨説明)	質疑 応答	藤 岡 雅 宣 氏 マルチメディア推 進フォーラム モバイル部会 部会長代理 (元・エリクソン ジャパンCTO)
13:10 ～ 14:05	「5年を経た5Gの振り返りと今後の展望」 ●5年を経た5Gを振り返って ●スタンドアローン、5G-Advancedへの取組み ●Open RANへの取組みと期待 ●ローカル5Gへの取組みと期待 ●Beyond 5Gにむけた研究開発	質疑 応答	大 神 正 史 氏 日本電気株式会社 テレコムサービス BU CTO
14:05 ～ 15:00	「5年を経た5Gの振り返りと今後の展望」 ●5年を経た5Gを振り返って ●Open RANへの取組みと期待 ●グローバルビジネスの課題と現状 ●Beyond 5Gにむけた研究開発	質疑 応答	鬼 柳 広 幸 氏 富士通株式会社 モバイルシステム 事業本部 Head of RU Opera- tion & Business Management
(休憩) (15:00～15:10)			
15:10 ～ 16:05	「5年を経た5Gの振り返りと今後の展望」 ●5年を経た5Gを振り返って ●社会インフラとしての5Gネットワーク ●ユースケースの拡大 ●収益化に向けた取組み ●ネットワークの更なる進化	質疑 応答	鹿 島 毅 氏 エリクソン・ジャ パン株式会社 チーフテクノロジ ーオフィサー
16:05 ～ 17:00	「5年を経た5Gの振り返りと今後の展望」 ●5年を経た5Gを振り返って ●スタンドアローンの展望 ●ネットワークAPIへの取組み ●5G-Advancedの展望とAI取込み ●Beyond 5Gにむけた研究開発	質疑 応答	高 岡 晴 生 氏 ノキアソリューシ ョンズ&ネットワー クス合同会社 ストラテジー&テ クノロジー 技術戦略本部長

- 当日、講師の都合により、代理講師による講演あるいは講演順序を変更する場合があります。
- 受講者交替可。

本フォーラムに関連する部門 あるいはご関心をおもちの部門に
ご回覧下さいますようお願い申し上げます。

委員長 齊藤 忠夫 東京大学			「マルチメディア推進フォーラム」委員会			(順不同 敬称略)		
(運営諮問委員会幹事)			稲葉 陽子 ㈱NTTデータグループ			技術革新統括本部		
代表幹事 齊藤 忠夫 東京大学			吉村 和幸 KDDI ㈱			イノベーション技術部長		
副代表幹事 服部 武 上智大学			宮川 潤一 ソフトバンク㈱			取締役執行役員専務		
森川 博之 東京大学			石原 直 東京大学大学院			代表取締役 副社長執行役員 兼 CTO		
成宮 憲一 一般社団法人			浅見 徹 ㈱国際電気通信基礎技術研究所			工学系研究科 特任教授		
科学技術と経済の会			遠藤 信博 日本電気㈱			代表取締役社長		
専務理事			新野 隆 日本電気㈱			特別顧問		
幹 事			木内 道男 日本電気㈱			取締役 会長		
尾上 誠三 国際電気通信連合 (ITU)			高木 康志 富士通 (株) SVP			執行役 Corporate EVP 兼		
川野 真稔 総務省			石田 貴一 ㈱日立製作所			テレコムサービスビジネスユニット長		
間宮 淑夫 内閣官房			伊藤 明男 ㈱日立国際電気			事業部長		
渡邊 昇治 経済産業省			加茂下哲夫 /片ソリューションズ* &ネットワーク㈱			副社長執行役員		
西尾 崇 国立研究開発法人 土木研究所			(主な設立発起人)			代表執行役員社長		
立川 敬二 ㈱ハイテクノロジー推進研究所			齊藤 忠夫 東京大学			名誉教授		
伊藤 寿治 日本放送協会			吉川 弘之 東京大学			元 総長		
川添 雄彦 日本電信電話㈱			立川 敬二 ㈱ハイテクノロジー推進研究所			取締役・特別顧問		
星野 理彰 東日本電信電話㈱			杉本 榮一 自由民主党			(宇宙航空研究開発機構 元 理事長)		
桂 一詞 西日本電信電話㈱			(最高顧問)			元 政務調査会 調査役		
池田 敬 日本電信電話㈱			甘利 明 元・経済産業大臣					
佐藤 隆明 ㈱NTTドコモ			金子 一義 元・国土交通大臣					
伊東 匡 NTTアドバンステクノロジー㈱			林 芳正 元・防衛大臣					
			代表取締役社長					

マルチメディア推進フォーラム — P A R T980 — 開催

- 日時 2025年 7月 10日 (木) 13時00分～17時00分
- 本フォーラムは会員様限定Zoomでのオンラインフォーラムとなります。
オンラインのみの開催となりますのでご了承の上お申込み下さい。
(一部、一般受講も受付ておりますのでご希望の方はお問合せ下さい。)

●参加申込要領

●受講料 ￥54,020.- (消費税を含む)

●申込先 事務局 ハイテクノロジー推進研究所 TEL (03)-6416-0190
〒150-0036 渋谷区南平台町15-12 南平台アイアイビル2F FAX (03)-6416-5351
E-mail fm@ahri.co.jp

●申込方法 申込書に所定の事項をご記入の上、FAX又は、Web上
(http://www.ahri.co.jp)にてお申し込み下さい。

●送金方法 銀行振込 みずほ銀行 渋谷中央支店 1554932 (普)
三菱UFJ銀行 渋谷明治通支店 3504194 (普)
※領収書のご必要な方は、通信欄にご記入下さい。

●キャンセル フォーラム開催前、7月3日までのキャンセルは可能ですが、お電話にてご連絡お願い
申し上げます。その後のキャンセルについては、お申し受けできませんのでご了承下さい。その場合は
代理の方の出席が当日配布の「資料」の送付をもって出席とさせていただきます。

●申込書について ご記入頂いたご連絡先は本フォーラムの事後連絡として使用させていただきます。
尚、今後開催されるフォーラム等のご案内を配信(又は送付)させていただきますが、今後 弊社からのご案内を停止される方は、事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

きりとり線

「マルチメディア推進フォーラム — P A R T980 — 申込書 (申込日) 月 日

会社名			TEL () — FAX () — E-mail:
会社住所	〒		
NO	受講者・所属・役職	受 講 者 氏 名 (ふりがな)	

支 払 法	●銀行振込 () 銀行 ● 年 月 日振込予定	通信欄 請求書—要・不要	